

○【移植用角膜片の作成】

(a) マイクロケラトームを使用した移植用角膜片の作成

- ① 移植用角膜片の作成の際には、滅菌された人工前房及びマイクロケラトーム等の器械を用い、細菌等による汚染の予防に十分配慮すること。また、摘出した強角膜切片や加工した移植用角膜片の取り扱いには細心の注意を払い、角膜内皮細胞に損傷を与えないように操作すること。
- ② 移植用角膜片の作成に先立ち、必要により強角膜切片の厚みをパキメーターなどを用いて測定しておく。
- ③ 強角膜切片を人工前房に載せ、動かないよう固定し、マイクロケラトームを用い均一の厚さに切る。
- ④ 切り取ったフラップは可能な限り元の位置に戻した上で、眼球保存液の入った専用保存容器に角膜上皮細胞側を下向きにして置き、素早く蓋をして封印すること。

(b) フェムトセカンドレーザーを使用した移植用角膜片の作成

- ① 移植用角膜片の作成の際には、滅菌された人工前房等の器械を用い、細菌等による汚染の予防に十分配慮すること。また、摘出した強角膜切片や加工した移植用角膜片の取扱いには細心の注意を払い、角膜内皮細胞に損傷を与えないように操作すること。
- ② 移植用角膜片の作成に先立ち、必要により強角膜片の厚みをパキメーターなどで測定しておく。
- ③ 眼球を（または、摘出した強角膜切片を人工前房に載せ）固定し十分な圧を保持した状態を確認した後、フェムトセカンドレーザーを使用し、均一の厚さに切る。
- ④ 切開面の実質に接着部位がないか、鑷子やスパーテルなど鈍な器具にて確認し、剥離する。
- ⑤ フラップは可能な限り元の位置に戻した上で、眼球保存液の入った専用保存容器に角膜上皮細胞側を下向きにして置き、素早く蓋をして封印すること。